

ご挨拶

校長 蕪澤 滋一

この度は、岩内東小学校ホームページをご覧いただき、ありがとうございます。

本校の創立は、明治7年4月、三島町・智恵光寺の一間を借り教育所を開設したことに始まります。明治27年には岩内尋常高等小学校と改称し、明治37年には男子1,136人、女子913人の規模に。昭和20年3月には70周年記念式典を開催し、昭和22年4月に岩内東小学校と改称。昭和46年新校舎に移転し、平成26年には開校140周年を迎えると共に岩内中央小学校の閉校に伴う統廃合を行い、現在に至っています。そして令和8年度の町内小中学校4校を統合する義務教育学校の開校へ向かっています。

本校の学校教育目標は、「明るく伸びる子」であり、

①考える子（知）、②助け合う子（徳）、③やりぬく子（徳）、じょうぶな子（体）の育成を目指しています。

本年度は、学校経営の重点を『「なりたい」を支える学校』としました。これからの子どもたちが生きていく社会は、予測困難な時代と言われます。少子高齢化、地球温暖化など解決が難しい課題がありますが、一方でグローバル化は進み、目覚ましい技術革新、価値観（幸せ）の多様化など今後に大きな期待ができるものもあります。その時代を生きる子どもたちには、多様な価値を認め、尊重し、支え合いながら、より良い社会の担い手となり、自分の「なりたい」を実現させていくのです。そのために、主体性や協働性を育てていく必要があります。

私たち教職員は、その子どもたちの「なりたい」を大切にし、自己実現できるよう支えてまいります。そして2年後の義務教育学校開校に向けて、夢と希望を抱いて進むことができるよう、何より東小でよかった、東小が大好きと子どもが感じられるよう取り組んでまいります。

令和6年度は、児童220名、教職員27名でスタートしました。本年度も保護者・地域の皆様、関係機関の皆様には本校の教育方針をご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。